

## 第4期第16回会員交流会(化学・材料グループ)

## 第4期第17回会員交流会(電気・機械グループ)

### 「特許事務所との付き合い方」開催

会員交流会（化学・材料グループ）が11月15日（火）にOBPパナソニックタワー会議室で開催されました。当日は16名が参加し、グループリーダーの中塚雅也弁理士には、少し進めにくいかもしれない、「特許事務所との付き合い方」というテーマで論議されました。

中塚リーダーは「課題」「作用」「効果」の一連の流れが重要で、その筋が通っている明細書は拒絶されにくい。そのために、特許事務所、企業の知財部門、発明者の3者が十分に協議することが大事であると提言しました。

各企業からは、費用対効果や若手育成の観点から、特許申請の内作化の傾向があるとの意見がある一方、先行技術調査のような手間のかかる業務、あるいは確実な権利範囲を要望する場合や、重要な案件に対しては特許事務所の力を借りるというような意見も出ました。

また、人材の育成やグローバルを意識した出願などにも話題がおよび、具体的に活発な議論が展開されました。

また、翌16日には電気・機械グループの会員交流会が同じくOBPパナソニックタワー会議室で開催されました。当日は18名が参加し、「特許事務所との付き合い方」という、グループリーダーの谷和紘弁理士には大変ご苦勞をおかけするテーマで進行されました。

最初に前回のテーマ「外国出願」について一社からの発表があり、中国への出願について議論された後、今回のテーマに移りました。

最近のご時世により、特許事務所に頼むより、内作が増えているという話や、特許事務所にはコンサルタントやアドバイザ的な立ち位置、あるいは社内での講演やセミナーの講師を依頼しているというような意見や、大手の特許事務所と小規模の特許事務所の長所・短所など、議論は多岐にわたり活発に展開されました。

【次回の予定】 電気・機械グループ：1月16日（月） 14：00～17：00

テーマ：「未定」 ※現在検討中

化学・材料グループ：1月17日（火） 14：00～17：00

テーマ：「フリートーク：知財に関する困りごと対策」

※ 最終の3月の交流会は合同となることが予測され、グループ単独で行われる最後の交流会となるため、あえてテーマは設定せず上記のテーマとなった。

会員交流会には、いつでも参加できます。

ご希望の会員は当協会事務局（TEL06-6479-1926、members@jiiiosaka.jp）までご連絡ください。